事業所名　コモド琴似

支援プログラム

作成日　令和8 年　4 月　1 日

法人（事業所）理念	子どもたちの可能性と未来が広がる支援。 子どもたち1人ひとりと向き合い個性と能力に応じた配慮で成長を促します。 子どもの最善の利益を保証しながらそれぞれのライフステージに応じた支援を行います。 子どもたちが分け隔てなく暮らしていける社会作りに貢献します。	
支援方針	「できた」を積み重ねて自信につなげる療育をしていきます。 主体性を育み、自己肯定感を高めていくとともに困り感や生きづらさを減らすお手伝いをしていきます。	
営業時間	9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無　(あり)　なし
	支　援　内　容	
本人支援　健康・生活	・児発：来所、降所準備の習慣づけ、一日のスケジュール確認、荷物整理や荷物の自己管理、トイレトレーニングなど基本的生活習慣を個人に合わせて定着できるように取り組んでいます。 ・放課後：来所、降所準備、一日のスケジュール確認、荷物整理や自己管理、身だしなみや挨拶など生活に必要な習慣を身につけていけるよう取り組んでいます。 ・共通：保護者記載のノートや利用児本人からの聞き取り、検温や顔色、行動などで体調の確認を行っています。	
本人支援　運動・感覚	・粗大運動を通しボディイメージを高めると共に、人と物の距離感や身体の使い方、動かし方を習得し姿勢保持や力加減が出来るようにしていきます。 ・目と手の協応性(風船バレー、ちり紙キャッチなど)や手指操作の向上を目的とした活動を取り入れ、ハサミなどの道具の使い方やのり、ボンド、小麦粉粘土やスライム、キネティックサンドなど様々な触覚に触れていくことで感覚の過敏や鈍麻の軽減を図っていきます。	
本人支援　認知・行動	・視覚支援と口頭指示を組み合わせ毎日のスケジュール確認を行っていきます。また、日付、曜日、時間の感覚を習得するためタイマーセットをするなど視覚や聴覚での理解を促す支援も行います。 ・数や形、色や大きさ、物の名前などの理解を促し活動に取り入発表する機会を設けていきます。	
本人支援　言語コミュニケーション	・絵本の読み聞かせや会話のやり取りを増やし、文字や言葉に興味が持てるようにしていきます。また、他者からの共感や共通の話題などから会話を広げ語彙数の増加を図ります。 ・個々に合わせた理解に繋がるよう絵カードを用いたり、他者への要求や表現方法を獲得できるよう職員もお手本になる行動をしていきます。遊びのルールなども絵や文字を組み合わせて説明を行い理解がすすむようにしていきます。	
本人支援　人間関係社会性	・地域イベントの参加を通し、その場に合わせた言行動が身につくように社会経験を積んでいきます。 様々な遊びを通し集団行動や社会ルールの理解、他者との関係を円滑に築ける方法を伝えていきます。	
家族支援	・育児など生活に対する悩みや不安の解消を随時行い、必要に応じて面談も行っていきます。 ・保護者会や親子レクなどを実施し各家庭とのネットワークを広げたり、親睦を深めることで悩みや不安の解消を図っていきます。	移行支援　・保育園や幼稚園の送迎時や面談機会を設け子どもの様子(情報共有)を行っています。
地域支援・地域連携	・各関係機関(学校、保育園、幼稚園)との情報共有や情報交換を図ります。	職員の質の向上　・職員研修(1回/月) ・発達に関することや事例検討などを行っています。 ・外部研修参加の場合は必ず職員周知を行っています。
主な行事等	・公共交通機関を利用した施設見学・夏祭り・季節やイベントに合わせた制作活動・イベントや季節に合わせたクッキングと必要食材の買い物練習・親子レク・各避難訓練実施	